

## 市民意識調査を実施しました

市では、平成 29 年度を初年度とする新たな 10 年間のまちづくりの指針を示す次期大田原市総合計画の策定を進めています。

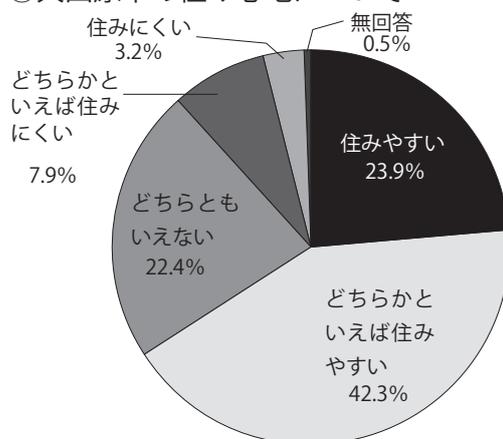
市民の皆さまのご意見を計画づくりに活かすため、今年 2 月に市民意識調査を実施しましたので、その概要をお知らせします。

- 調査対象…市内在住の 18 歳以上の方 3000 人
- 抽出方法…無作為抽出
- 調査方法…郵送方式
- 回収率…49.5%

問政策推進課 A 1 階  
TEL(23)8701

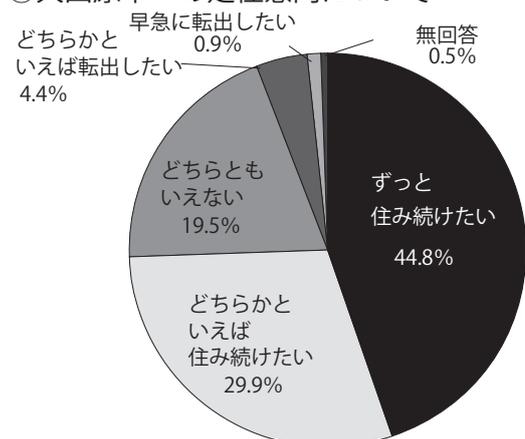


### ①大田原市の住み心地について



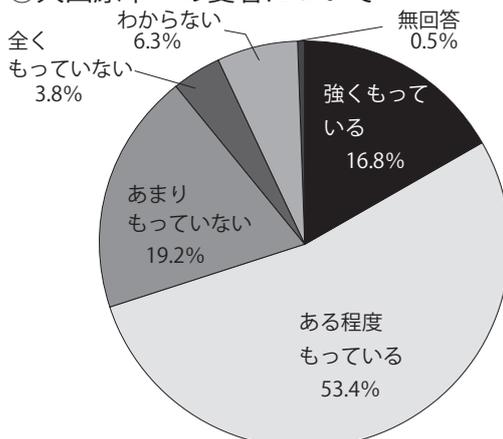
「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の回答を合わせて『住みやすい』と感じている割合は 66.2%になりました。

### ②大田原市への定住意向について



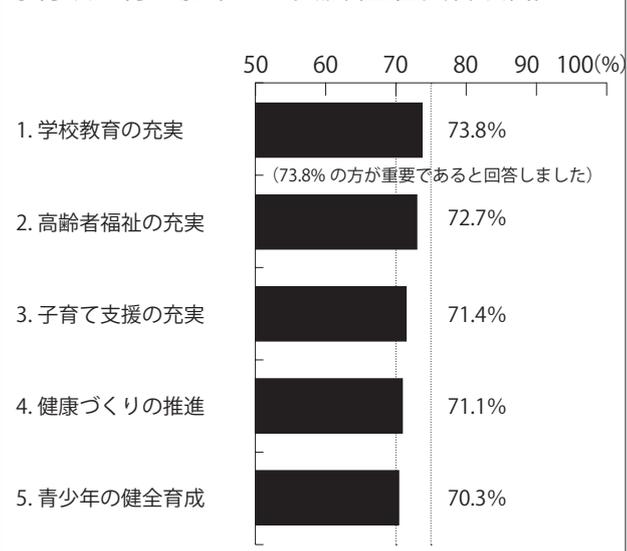
「ずっと住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」の回答を合わせて『住み続けたい』と感じている割合は 74.7%になりました。

### ③大田原市への愛着について

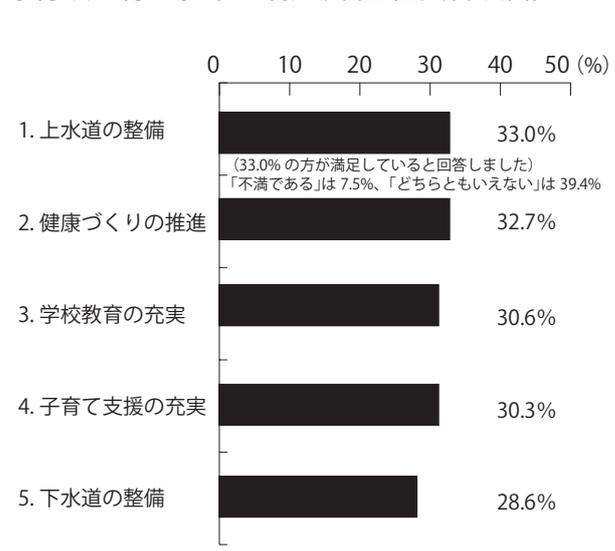


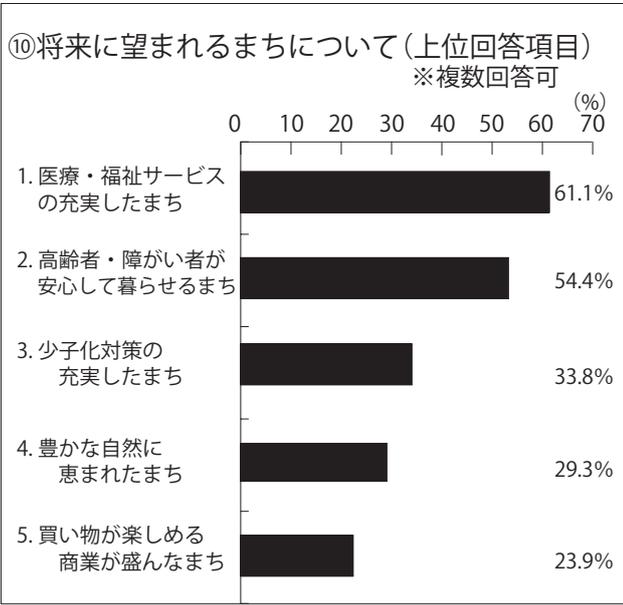
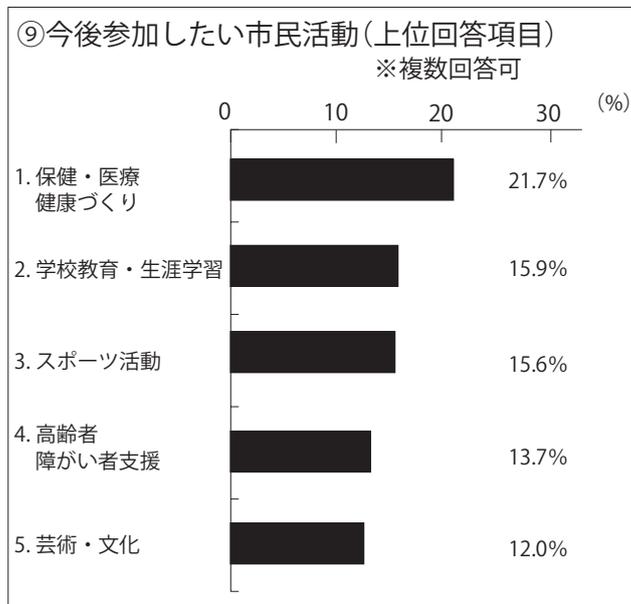
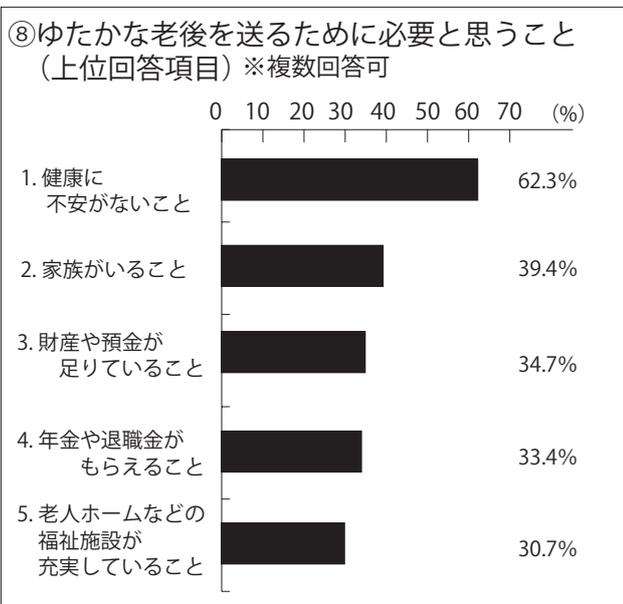
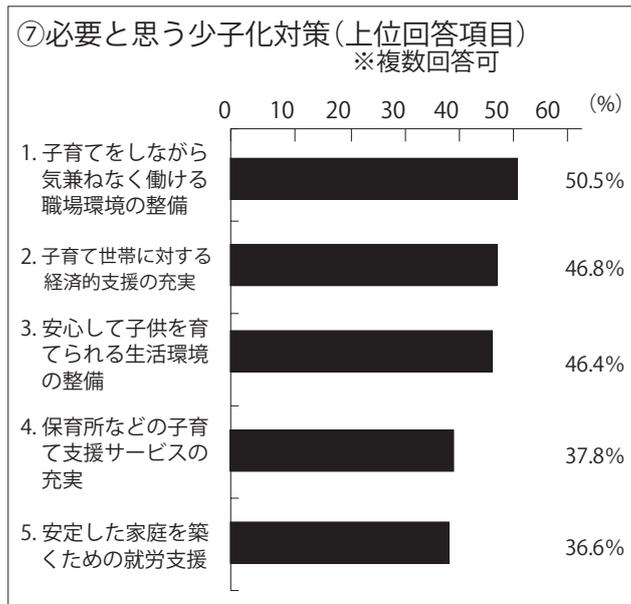
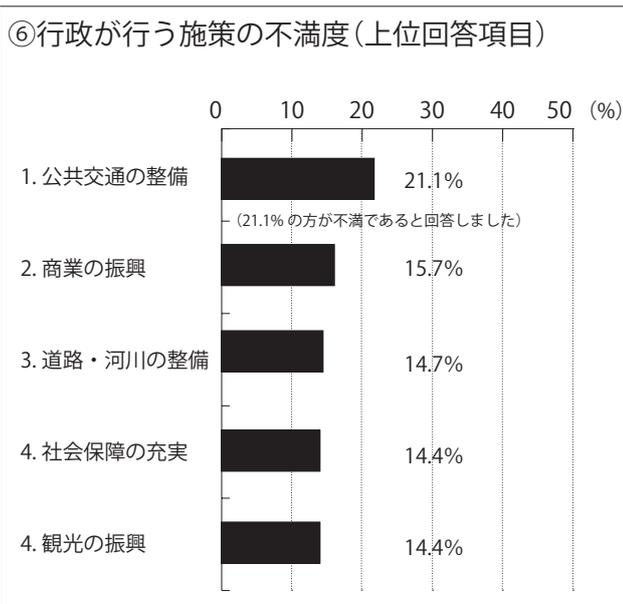
「強くもっている」「ある程度もっている」の回答を合わせて『愛着をもっている』割合は 70.2%になりました。

### ④行政が行う施策の重要度(上位回答項目)



### ⑤行政が行う施策の満足度(上位回答項目)





今回の調査の結果では、7割以上の方々から大田原市に「住み続けたい」、「愛着がある」といった回答がありました。

また、市の施策については「学校教育の充実」、「子育て支援の充実」、「健康づくりの推進」が重要度、満足度ともに上位5項目に含まれている反面、「公共交通の整備」や「商業の振興」が不満度の高い結果となりました。

これらの結果を踏まえ、今後も市民の皆さまが「住んでよかった」と思えるまちづくりを進めてまいります。

なお、詳しい調査結果については市ホームページに掲載しています。